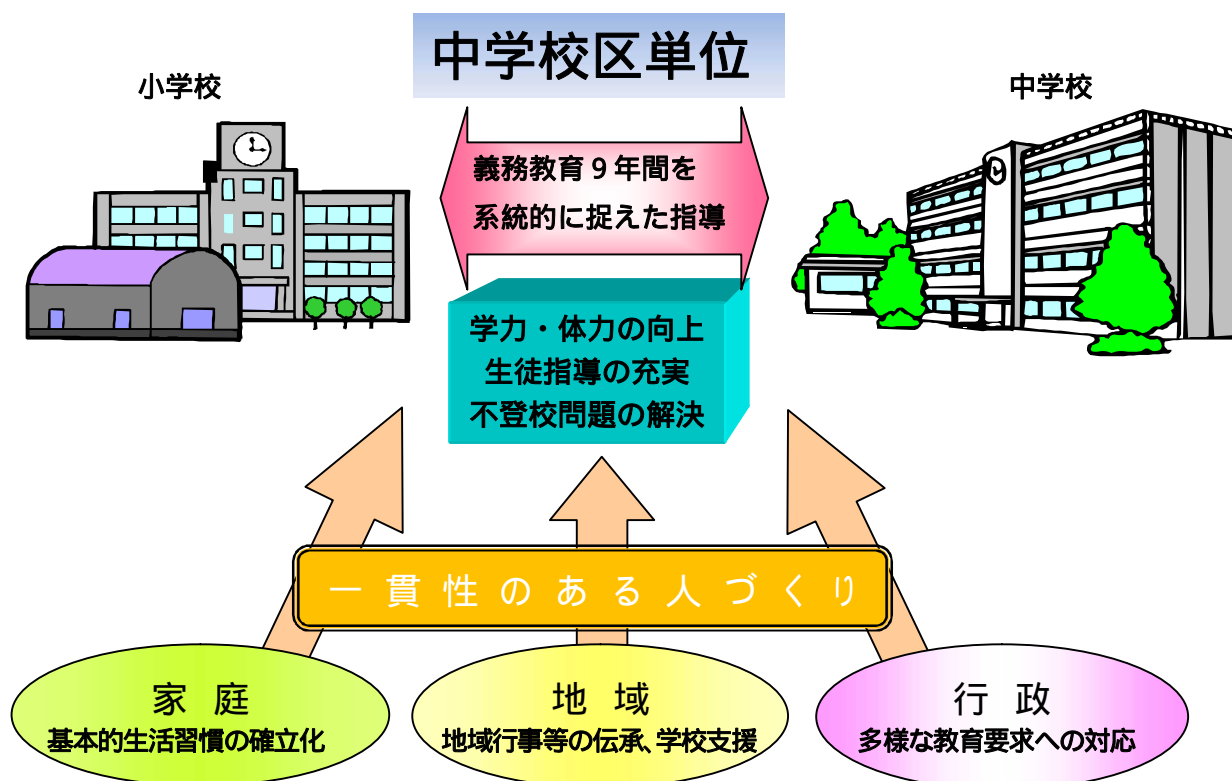


平成25年度 飯田市小中連携・一貫教育 実施計画

< 飯田市教育の目指す姿 >

地育力によるこころ豊かな人づくり

「地育力」とは、地域にある資源を活かし飯田の価値と独自性に自信と誇りを持つ人を育む力のことです。



飯田市教育委員会



1 小中連携・一貫教育の基本方針

- (1) 義務教育9年間において、各校や地域の特色を生かした一貫性のある教育活動を行い、地域を愛し、将来の飯田市の担い手となるようムトスの心、結いの心を育む。
- (2) 9年間の発達段階に応じた教育活動のカリキュラムや指導体制の研究を行い、子どもたちの学力・体力の向上と生徒指導の充実及び不登校問題の解決を図る。
- (3) 中学校区単位で、小中連携・一貫教育によって育みたい力を共通理解し、教職員相互の連携を活性化し指導力を高める。
- (4) 小学校間・小中学校間での交流を一層進め、小学校から中学校への円滑な接続を図る。
- (5) 学校評議員や公民館を含む地域組織及びボランティア等の教育活動への参画・支援によって、地域と学校との連携を深め、飯田の資源を積極的に活用した連携・一貫教育を行う。
- (6) 現存する学校施設を生かした形で連携・一貫教育に取り組む。(施設分離型)

2 平成24年度の推進内容

- (1) 竜東中学校区及び鼎中学校区の2つのモデル校区において実践と検証を重ね、平成25年度へ向けて実施計画の修正を行った。
- (2) 教育委員会は、基本方針及びモデル校区の実践の検証に基づき、全中学校区において共通して取り組む骨子を「実施要項」としてまとめた。
- (3) モデル校区以外の中学校区においては、モデル校区の実践を参考にし、平成25年度の実施計画の立案に着手し、検討を重ねてきた。

3 平成25年度の実施計画の概要

(1) 全中学校区で取り組む内容

中学校区内の推進委員会(名称は中学校区により異なる。)の設立と推進計画や実施計画の協議

中学校区における合同職員会又は合同研修会の開催(全職員による実施計画の検討や中学校区の特色等についての研究)

9年間を通した「目指す子どもの姿」の協議と中学校区として核となる取組等についての検討、学校評価や学校評議員会における教育方針に基づく具体的な取組についての評価

小中学校間や小学校間での授業参観や研究会を通した子どもの状況の把握と発達段階に応じた指導についての研究協議

職場体験学習やふるさと学習等のキャリア教育の実践

個別の支援シートの活用と継続した指導・支援のための協議

小学校6年生を対象とした体験入学の実施(学校説明や体験授業等)

学校行事や学年行事等による小学生と中学生の交流や合同活動

(2) 多くの中学校区において研究している内容

保護者・地域の方による外部講師や各種の支援

- ・地域の優れた人材の活用は、小学校においては特別活動や総合的な学習の時間を中心にかねてから取り組んでおり、中学校においても検討する。

教科等の指導計画の検討(合同職員会又は合同研修会等において)

- ・検討する教科等については、中学校区ごとに特色を生かす中で決定する。

小中学校間や小学校間の授業交流や授業研究

- ・子どもの学習状況等の把握を確かにし、一貫性のある学習指導を目指した取組をする。

- ・中学校区の実情に応じて出前授業や体験授業等の研究を進める。

(3) 中学校区ごとの研究課題と特色ある取組の一例

飯田東中学校区

- ・地域に愛着を持つ子どもを育てるための連携意識の高揚、学校生活への適応を円滑にする小中連携活動の充実
- ・小中合同のりんご並木活動等（H25 はりんご並木 60 周年の諸活動を位置付ける）、歌声を響かせる各種の活動

飯田西中学校区

- ・ふるさとを愛し、ふるさととともに生きている自分を見つめ、ふるさとの未来と私の夢主体的に想像していける児童・生徒の育成
- ・地域や家庭と連携し小中一貫したキャリア教育の実践

緑ヶ丘中学校区

- ・小中相互の情報交換と課題共有の場としての「小中連携会議」、分掌や係による連絡会の開催の開催と授業改善を目指した小中学校間の連携
- ・中学校区内の連携会議や小中相互の授業参観等を通じた児童生徒の実態を把握

竜東中学校区

- ・たくましく生き抜いていける子ども、地域を背負って立つ子どもを育てる教育活動の工夫と実践
- ・小規模校のよさを生かした授業、行事、交流活動等の工夫と実践
- ・小小連携による取組、定期的な情報交換や研修等による諸課題への対応と未然防止に向けた取組、地域と連携した取組（交流スポーツ大会、ふるさと竜東の集い等）

竜峡中学校区

- ・心身ともにたくましく、地域とともに歩む子どもを育てる教育活動の工夫と実践
- ・小小連携による活動（交流学习、3小学校連携学年会等）小中連携による活動（小中合同職員会、小中合同研修会等）、児童・生徒の交流

旭ヶ丘中学校区

- ・小中の教育課程の理解と系統性の確認
- ・不登校、不適応等配慮を要する児童生徒について9年間一貫して支援していく体制作り
- ・義務教育9年間で育成したい子ども像（「目指す生徒像」）についての検討と共有（教職員、保護者、地域の方々）、中学校区内共通の個別の支援シートを活用した円滑な接続

鼎中学校区

- ・一人一人の確かな学びとよさを伸ばすための連携した指導・支援の確立と実践
- ・小中合同教科等係会（一貫した指導計画の作成と教材研究）、個人支援シートの作成と活用等による継続的な指導・支援

高陵中学校区

- ・「みやましい子」を目指した教育活動の工夫と実践
- ・部会（学力向上、体力向上、学習・生活習慣、児童生徒支援等）による小中交流・小小交流の推進

遠山中学校区

- ・目指す子ども像「郷土を愛し、社会の一員として、自立した生活ができる子ども」の育成
- ・学力と授業の連携、こころと生活の連携、運動と健康に関わる連携、防災と安全に関わる連携、行事他での児童生徒・教職員の連携の5つの連携の推進